

激戦地に平和の旋律

被爆ピアノ 糸満で演奏会

【糸満】広島サート(同実行委員会主催)が29日、糸満市の県平和祈念資料館で開催された。関東と沖縄を中心に



被爆ピアノを演奏する太田美知彦さん(右)とゲスト歌手の古謝美佐子さん
=29日、糸満市摩文仁の県平和祈念資料館

活動するミュージシャンの太田美知彦さんが演奏したほか、県内で活動する歌手の古謝美佐子さん、昨年の「世界エイサー大会2011」のグランプリ部門で優勝した古武道太鼓集団「風之舞」も出演。被爆ピアノの音色が沖縄戦激戦の地に鳴り響く中、核廃絶と平和について思いを寄せた。

調律師の矢川光則さん(59)は広島市が被爆者から譲り受けて修復、管理するピアノを使い、全国で公演を重ねている。沖縄では2007年以来2回目。

矢川さんが管理する4台の中から今回の沖縄公演では、爆心地から約1・8キロの最短距離で被爆したピアノが使用されている。

矢川さんは「核兵器廃絶に向かわなければ、世界の未来はない。被爆ピアノを通して考える機会としてほしい」と呼び掛けた。